

行政視察（研修）報告書

【会派名：起新の会】

行政視察 （研修）名		起新の会行政視察（新庄市、中核工業団地）	
参加者名		参加者：山科春美 庄司里香 石川正志 小嶋富弥（議席順）	
期 日		令和 3年 6月 14日（月）	
①	日 時	6月 14日（月）午後 1時 20分～ 3時 00分	
	視察（研修）先	有限会社グリーンバレー	
	調査項目	事業内容および雇用状況について	
	調査項目 及び内容	調査概要	<p>① 事業内容</p> <p>前身である小川商店時代から現在の会社名となり、現在の福田山工業団地内で革の財布や名刺入れなどの小物製作を続けている。デザインから原材料の調達、製作、販売までのトータルした事業展開で実績を上げている。本市でのふるさと納税の返礼品として現在第3位となり、新たな商品開発を展開している。</p> <p>② 今後の事業と雇用の将来性</p> <p>デパートでの販売や販促イベントが再開し、販路が戻ってくるのはまだ先の話である。一般的に革小物の業界は、不況からの回復は遅いと言われている。手作業の工程が多く、技術力が必要な部分が確実に引き継がれているので、この強みを活かして新商品開発に繋がりたい。女性が中心の企業で若手も多いので、ふるさと納税の返礼品事業もユーザーの要望を取り入れたいと意欲的である。</p> <p>新型コロナ感染症によるイベント（デパートでの物産展）減少による需要先の制限で、20名の社員を10名に縮小しての事業となり、年商も大きく減額したが、商品のラインナップを変更し、現在、新たに犬猫用の首輪を注文生産するための試作品を作製している。</p> <p>説明者 代表取締役 小山太之 氏</p>

		<p>【所感】</p> <p>ふるさと納税の返礼品のHPのカタログ上での商品写真以上に、手に取った時のしっかりとした上質の商品は、我まちの代表にふさわしい物と言えらると思う。企業の代表者のお話の中で、商品に懸ける思い入れを感じ、業界の景況が図れたならば、今のピンチを糧とし、より良い企業となつて成長するのではないかと思う。</p>
--	--	---

②	日 時	6月14日(月)午後 3時00分～ 4時00分	
	視察(研修)先	協和木材株式会社新庄工場	
	調査項目	事業内容および雇用状況について	
	調査項目及び内容	<p>調査概要</p> <p>① 事業内容 国産のスギ材を使い、集成材の柱を作っている工場。本社は東京で、工場は本市の他、福島県内にある。本市の工場は平成28年に創業。6年になる。従業員数は約100名。 集成材の方が柱の強度が高いことは実証されて久しい。柱は一番使用感が高い3寸柱を主に製造している。その為、大手ハウスメーカーで広く使ってもらっている。</p> <p>② 今後の事業と雇用の将来性 現在は工場も本工場、第2工場の2拠点にて24時間体制で稼働している。輸入される住宅用木材の減少により、国産材の需要が高まっており供給が追いつかない状況である。生産量をアップする為により更なる投資をし、オールオートメーション化を図り生産力を強化したい。</p> <p>この分野のトップランナーとしてそのシェアを外国産の柱に品質や価格面でも負けていない努力をしていく。これからは住宅だけでなくビルや公共の建物への使用も視野に入れている。</p> <p>説明者 担当取締役 菊池正明 氏 総務・山林副部長 矢口大地 氏</p>	

		<p>質 疑 意見交換 所 感</p>	<p>【所感】</p> <p>広大な敷地に丸太が山ほど積んでいるその風景は大迫力でした。工場内の作業の説明もハンドスピーカーを手持ちで行うなど騒音に配慮された案内は手際よく、とても頭が下がる思いでした。また、副部長さんの若さにびっくりしました。従業員の方々も皆、若く、頼もしい限りでした。こんなすばらしい会社がいくつも工業団地にあることを本市の学生さん達や、ご両親にも知っていただき、地元就職を選択してもらえたらと心から思います。また、原材料の地産地消の観点からも市の公共施設にも活用が望まれるところです。</p>
--	--	-----------------------------	--

③	日 時	6月14日(月)午後 4時10分～ 5時20分	
	視察(研修)先	もがみバイオマス発電株式会社	
	調 査 項 目 及 び 内 容	調査項目	事業内容および雇用状況について
		調査概要	<p>① 事業内容</p> <p>商品価値の薄い木質全てを燃焼させて発電機を回すことで発電する従業員13名の会社である。また、育苗や植林、伐採等関連する企業を含めると50名程度が従事している。平成28年に工業団地で起業し、現在6年目である。</p> <p>② 今後の事業と雇用の将来性</p> <p>第2工場建設に向け意欲的で、現在、国(経産省)と協議を重ねている。関連する林業事業やその他木材集積事業等、雇用の広がり期待している。当地域の木質資源は豊富である。しかし、現在の問題として、燃焼灰の活用が現時点では出来ず、岩手県まで運んでの処理しているため、この点での改善を目指している。</p> <p>説明者 専務取締役 鈴木洋一 氏</p>
質 疑 意見交換 所 感	<p>【所感】</p> <p>創業まもない企業ですが、優良企業としての業界内のトップランナーとなるべく若手育成にも意欲的でした。今後、国連のSDGsや国が進める「0カーボン都市」を考える上で必要な企業であると考えます。本市としても後押しをして、「0カーボン都市宣言の象徴」となる企業と言えます。2050年カーボ</p>		

			<p>ンニュートラル温暖化対策をリードする都市「新庄市」と名乗りを上げ、実現化を目指すことになれば、後に続く企業もできると思う。環境系の企業はこれから伸びる業界の為、本市としても市のイメージアップに繋がると考える。</p> <p>かつて、東日本大震災を経験し数日間停電が続き市民生活に支障をきたした過去を振り返るとき、本市と連携しての災害時の電源手段として注目している。</p> <p>この度の視察で、私たちが快く受け入れてくれた企業の皆様をはじめ、帯同していただいた職員にあらためて感謝申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">(文責 庄司里香)</p>
--	--	--	---

写真等

<p>①</p>			
		<p>有限会社グリーンバレー</p>	

<p>②</p>			
		<p>協和木材株式会社新庄工場</p>	

③



もがみバイオマス発電株式会社